

女性限定静浜基地バスツアーを開催



消防小隊見学



懇談

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久1等陸佐）は11月30日（日）、航空自衛隊静浜基地（焼津市）において女性限定の基地見学バスツアーを行った。これは、女性の入隊予定者や志望者、保護者を対象としたもので、17人が参加した。

まず、基地の隊員から女性の勤務環境や制度などについて説明を聞き、女性隊員が生活する隊舎や浴場などを見学した。参加者は「私物も置いて、思ったより自由なんですね」と驚いていた。

次にバスで移動し、管制隊、消防小隊、気象隊を見学した。それぞれの部隊で勤務している隊員から仕事内容などについて話を聞き、消防小隊では女性用の夜勤仮眠室の見学、防火衣試着、放水体験も行った。

昼食後は、有線整備員と消防小隊の女性隊員を交えた懇談を行った。転勤や職種、休暇の取り方など、さまざまな話題が上がり、参加者からは「入隊時に不安だったことは何ですか」「やっておいた方がいいことはありますか」といった質問も寄せられた。

静岡地本は、今後も志望者や入隊予定者の見学会を開催し、実際の勤務環境や隊員の声を伝えていく。

田子の浦ポートフェスタに特務艇「はしだて」 若者対象の特別公開も



はしだて一般公開



一日艇長との記念撮影

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久1等陸佐）は12月13日（土）と14日（日）、田子の浦港（富士市）で行われた海上自衛隊特務艇「はしだて」の特別・一般公開に協力した。

同艇は、来賓客への接遇や災害派遣対応等を任務とする船で、豪華な内装や災害派遣に対応できる機能性が特徴。

13日は中・高・大学生等を対象とした特別公開が行われ、31人が隊員の案内のもと、艦橋や隊員の居住区、来賓客をもてなす休憩室や会議室などを見学した。昼食は、海自トップレベルと言われる同艇の調理員が作ったカレーを体験喫食し、参加者は食事と隊員との会話を楽しんだ。

14日は富士市主催の田子の浦ポートフェスタが開催され、同艇も一般公開を行った。673人が乗艦して甲板やロビーなどを見学したほか、観光大使の富士市第40代かぐや姫クイーン、星野佳音さんが一日艇長として乗艦者の出迎えや記念撮影などを行った。

岸壁では乗員によるらっっぱ吹奏と手旗信号の実演体験会が行われ、静岡地本の広報ブースや陸自第34普通科連隊の車両展示も人気を集めた。

静岡地本は、今後も自衛隊の幅広い任務を知ってもらえるよう、広報活動を行っていく。